

【生坂村】校務DX計画

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	0%	100%		
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	0%	0%	100%		
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	0%	0%	100%		
選択項目	1.児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計している学校の割合	0%	100%			
	2.業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービス等を用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えている学校の割合	0%	100%			
	5.保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している学校の割合	0%	100%			
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のICT活用能力に格差が生じている。また、能力の高い教職員が異動してしまうとDX推進体制が維持できない場合がある。 ・財務規則上押印が必要な伝票等あるため、学校での事務処理でも押印を廃止することが難しい。 				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール運営支援センター(委託業者)による継続的な支援。 ・近隣市町村との連携を推進し情報を共有を図る。 ・教職員研修の実施。 				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末に行う学校長との懇談の中で、教職員の働き方改革等も含め検討していく。 				